

ドネペジル塩酸塩 OD錠 10mg「ZE」の溶出試験に関する資料

全星薬品工業株式会社
医薬情報部

I. 「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン(平成18年11月24日付薬食審査発第1124004号)」による製剤比較試験

1. 検体

試験製剤：ドネペジル塩酸塩 OD錠 10mg「ZE」(ロット番号：DPD10-I1)

標準製剤：アリセプト D錠 10mg (ロット番号：95A69M)

2. 溶出試験法

日本薬局方一般試験法・パドル法

試験条件：①回転数：50rpm

試験液：pH1.2

pH3.0

pH6.8

水

試験液量：900mL

②回転数：100rpm

試験液：pH3.0

試験液量：900mL

測定法：液体クロマトグラフィー(波長：271nm)

3. 結果

溶出試験の結果は図1～5及び表1に示す通りであった。

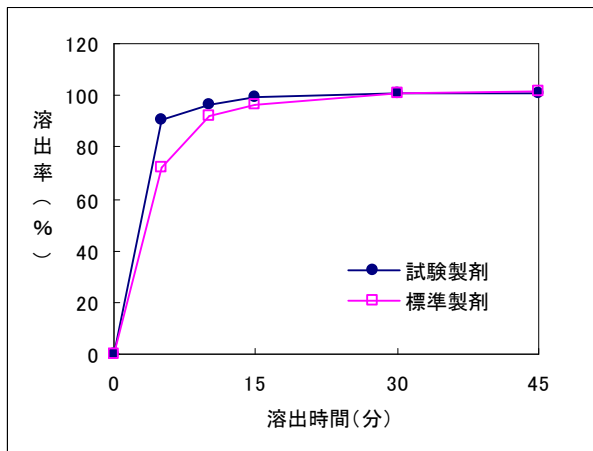


図1 pH1.2(50rpm)における平均溶出率

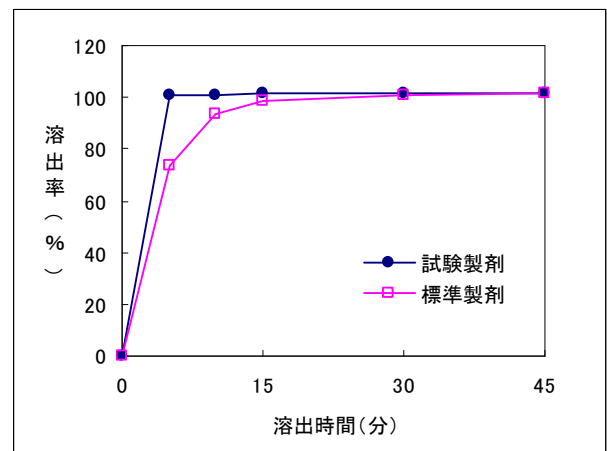


図2 pH3.0(50rpm)における平均溶出率

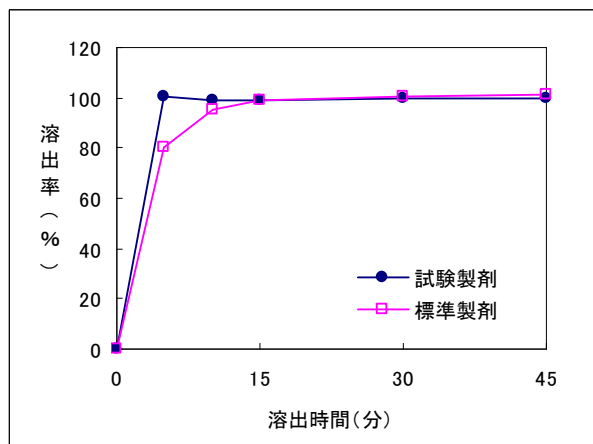


図3 pH6.8(50rpm)における平均溶出率

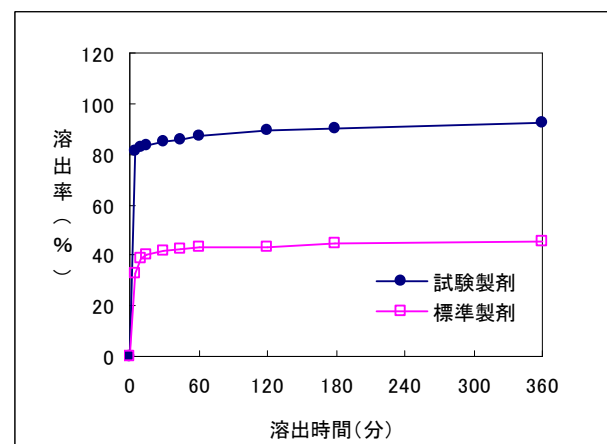


図4 水(50rpm)における平均溶出率

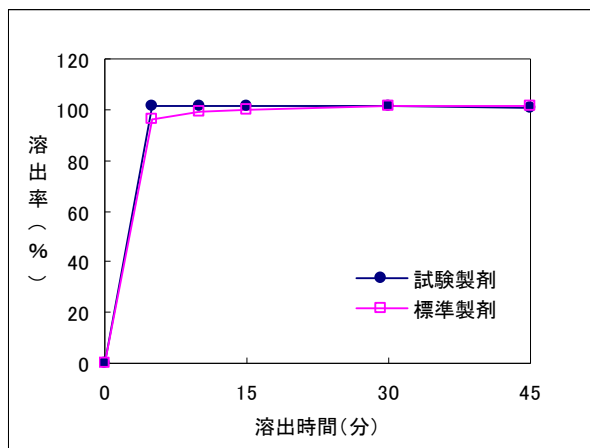


図5 pH3.0(100rpm)における平均溶出率

表1 溶出挙動の同等性の判定結果

装置	パドル法			
回転数(rpm)	50			
試験液	pH1.2	pH3.0	pH6.8	水
ガイドラインの判定基準分類	①	①	①	③ c.
採取時間(min)	15	15	15	5 360
標準製剤(%)	96.56	98.78	98.88	32.57 45.72
試験製剤(%)	99.20	101.28	99.37	81.51 92.09
f2 関数	—	—	—	18.9
判定	適合	適合	適合	不適合

装置	パドル法
回転数(rpm)	100
試験液	pH3.0
ガイドラインの判定基準分類	①
採取時間(min)	15
標準製剤(%)	100.11
試験製剤(%)	101.30
f2 関数	—
判定	適合

<判定条件及び判定基準>

- ① : 標準製剤が 15 分以内に平均 85%以上溶出する場合で、試験製剤が 15 分以内に平均 85%以上溶出するか、又は 15 分における試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にある。
- ③ c.: 標準製剤が 30 分以内に平均 85%以上溶出しない場合で、規定された試験時間において標準製剤の平均溶出率が 50%に達しないとき、標準製剤が規定された試験時間における平均溶出率の 1/2 の平均溶出率を示す適当な時点、及び規定された試験時間において試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±9%の範囲にあるか、又は f 2 関数の値が 53 以上である。

II. 「ドネペジル塩酸塩 OD錠 10mg「ZE」の規格及び試験方法」に対する適合性

1. 検体

ドネペジル塩酸塩 OD錠 10mg「ZE」（1錠中、ドネペジル塩酸塩 10mg 含有）3ロット(DPD10-S1、DPD10-S2、DPD10-S3)

2. 溶出性

『ドネペジル塩酸塩 OD錠 10mg「ZE」』承認書「規格及び試験方法」の溶出性に準じた。

試験方法：日本薬局方一般試験法・パドル法

試験条件：回転数：50rpm

試験液：pH6.8

試験液量：900mL

測定法：液体クロマトグラフィー（波長：271nm）

溶出規格：

測定時間	溶出率
15分	80%以上

3. 結果

溶出試験の結果は表2に示すとおりであり、いずれのロットも溶出規格に適合した。

表2 溶出試験結果 (n=6)

ロット番号	回数	溶出率(%) (最小値～最大値)
DPD10-S1	1	98.8～101.5
	2	95.7～101.0
	3	94.9～99.0
DPD10-S2	1	99.3～101.2
	2	96.7～100.4
	3	94.1～103.6
DPD10-S3	1	99.3～102.9
	2	99.4～102.5
	3	98.9～101.5

III. 結論

ドネペジル塩酸塩 OD錠 10mg「ZE」は、「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン(平成18年11月24日付薬食審査発第1124004号)」に基づく溶出試験において、50rpm・水で他の液性と同様に速やかな溶出を示したため判定基準を満たさなかった以外は、類似性の溶出挙動を示した。また、本剤の規格及び試験方法「溶出性」の規格に適合した。

以上